



令和4年度上半期 ミニディスクロージャー誌

JA高知県 (令和4年4月1日～9月30日)



エメラルドメロンの消費宣伝(とさのさとアグリコレットで)

- 設立:平成 31 年1月1日
 - 本所所在地:高知市五台山 5015 番地 1
 - 事業活動エリア:県内全域
 - 組合員数:正組合員 40,816 人、准組合員 43,981 人
 - 役職員数:役員 53 人、職員 2,039 人
 - 子会社・関連会社数:子会社 11 社、関連法人等6社
- ※令和4年9月末現在

<経営理念>

高知県の豊かな自然の恵みを生かして、組合員・地域の皆様と共により良い「未来」をつくれます。

<経営方針>

- ・地域農業を振興し、農業者の所得増大を実現します。
- ・人と人とのつながりを大切にし、心豊かな地域社会を創造します。
- ・新たな改革に挑戦し続け、さらなる協同の成果を実現します。

JA綱領 －わたしたちJAのめざすもの－

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等)に基づき行動します。

そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

JA高知県経営理念

<経営理念>

高知県の豊かな自然の恵みを生かして、組合員・地域の皆様と共により良い「未来」をつくれます。

<経営方針>

- ・地域農業を振興し、農業者の所得増大を実現します。
- ・人と人とのつながりを大切にし、心豊かな地域社会を創造します。
- ・新たな改革に挑戦し続け、さらなる協同の成果を実現します。



ごあいさつ



高知県農業協同組合

代表理事組合長 秦泉寺 雅一

組合員ならびに利用者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、令和4年度上半期は、新型コロナウイルスの第7波の影響が続くなか、ウクライナ情勢や急激な円安に伴う生産資材やエネルギー資源の価格高騰によって国内農業に深刻な影響をもたらしました。

7月、9月には台風4号や14号が県内の農業施設や農作物に甚大な被害をもたらし、被害総額は県内全体で10億円を上回る規模となりました。被災された組合員の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

こうしたなか、9月末時点の購買事業総利益は、14億27百万円（前年度同期比94.76%）、販売事業総利益は、12億75百万円（同100.43%）となりました。信用事業では、国内のマイナス金利政策の継続や米国の利上げ政策に伴う金利差の拡大などによる影響で、信用事業総利益は、20億31百万円（同99.70%）、共済事業総利益については長期共済保有高の減少なども影響し、17億40百万円（同89.39%）となりました。

また、農水省の監督指針の改正に伴い早期警戒制度が適用され、「持続可能な収益性」と「将来にわたる健全性」の確保が強く求められております。金融情勢と経営環境が激変するなかではありますが、これからも地域に必要とされる組織として在り続けられるよう、「3か年計画」ならびに「不断の自己改革」を実践し、組織、事業、経営の革新を図ってまいります。

コンプライアンス態勢の構築については、昨年度までの不祥事等の発生を踏まえ、8月にコンプライアンス担当専任理事を配置し、リスク管理体制の強化に取り組ましました。リスク管理部門を専任理事の直轄とすることでリスク管理の専門性と独立性を一層強固なものとし、下半期も再発防止の徹底に取り組んでまいります。

当組合への理解を深めていただけるよう、令和4年4月から9月までの事業活動の内容や財務状況をミニディスクロージャー誌としてまとめております。ぜひご一読くださいますようお願い申し上げます。

令和4年10月吉日